

♪お知らせや学校だよりのカラー版、行事予定等を学校ホームページで掲載しています。ご覧ください♪

高く 広く 強く 豊かに



学校だより



2024（令和6）年2月27日
伊賀市立阿山中学校
No.13 伊賀市千貝 10番地
<http://www.iga.ed.jp/ayama-j/>

☆学校の様子～3学期人権講演会より～

2月8日（木）にPTA研修部主催の人権講演会が行われました。講演に先立って『伊賀市部落問題を考える中学生の集い』に参加したメンバーの報告がありました。

「人権についてみんなで考える環境をつくりたい。自分が差別をしない…だけでは差別をなくす行動にはならない。発信していくことから始めたい。」「自分の考えや思いを出し合うことでわかることがある。人権について話し合うことが楽しいということをもみんなに伝えたい。」等、『集い』を通して学んだことを発信しました。



講演会では、伊賀市役所生涯学習課の川口素生さんを講師にお迎えし、ご自身のこれまでの経験やお仕事を通じての気づき等を多岐にわたってお話いただきました。

誰が差別されるのかではなく、自分も「してしまうかも」で聞いてほしい

『人権とは空気のようなもの』
『人との関係の中で自分を振り返ること』『教科の学習だけでなく

生きるために学び続けること』など、人権を軸に誰もが生きやすくなる社会にしていくためのヒントをたくさん教えていただきました。



～感想の一部を紹介します～

- 「人権は空気」というのが心に残った。そして、大森さん（3B）が感想で言っていた（人権は、空気のように見えないけれど）「見えないわけではなく、見ようとしていなかっただけ。」というのすごくよく分かった。川口さん自身も完璧な部分だけでなく、自分が気づいていなかったことや、間違ったことを認めて新しく学んで、改善していく姿に共感したので、自分も学ぶことで変わるんじゃないかと思った。
- 川口さんも「自分も最初は無意識に差別していた。そのことを途中で気づいた。」と言っていたので、少し安心しました。私は、人権の勉強をしてから、自分が無意識に差別していることに気づいたので、「今までどれだけの人を知らないうちに傷つけていたんやろ。」とか…ずっともやもやしていました。でも、これからちゃんと人の気持ちを考えて、少しずつでも（差別を）なくしていきたいと思いました。
- 人権が守られる社会をつくるためには、人権のことを常に考えていることが大切だと思います。人権集いや人権講演会のときは、みんな真剣に考えているけど、休み時間などの普段の生活の中で考えるのが難しいと思う人が多いと私は感じています。今日のお話で、人権は空気と考えることができることを知り、確かにそうだと思います。人権も空気も私たちになくてはならないものなのに、普段はスルーされて気にもとめられていないものだと思います。だから、（人権について）常に考えられる自分になりたいです。
- 自分の中で一番印象に残っていることは、「友だちとの関係」についてです。ただ面白いからという理由だけで一緒にいるのなら、それは川口さんが仰っていた「表面上の友だち」であって、「本当の友だち」ではないと分かりました。今までの友だち関係を見直すきっかけにもなりました。

○私が一番心に残っているのは、空気は見えないけど生きていくためには絶対に大事で、人権も目には見えないけれどとても大事だということです。全体の感想のときにも多くの人から出ていたので、より心に残りました。そのことを聞いた瞬間「ホンマや!」となり、今まで「人権」と聞くと難しいことだと思い込んでいたので「うお!」となりました。私は今までいじめを目にしたときも、注意したくてもできず、見て見ぬふりをしていました。今の私には、いじめや陰口をしている人たちに注意をする勇気がありません。仲の良い人だったらなおさら注意できないし、「〇〇もそう思うやんな?」と言われるとうなずいてしまいます。だけど本当は注意したいし、いじめをなくしたいです。だから、まずは(同調せず)頑張って首を横に振りたくたいです。

○自分を振り返ることで、後悔したり失敗に気づいたりするのが怖くてなかなか出来ていなかったなと気づきました。でも、その失敗をそのままに放っておいたら同じように傷つく人が増えたり、傷つけないのに人を傷つけてしまうと思ったので、自分を振り返る時間を大切にしたいと思いました。今まで人権学習は話を聞くことだと思っていたけれど、自分のことを考えることが人権学習だと分かりました。そして、自分も今から差別をなくすための行動ができると気づきました。普段から地域の人には大きな声で挨拶するとか「少し勇気のいる行動」をすることで、いじめなどに気づいたときも声を出せると思います。

☆ 卒業を目前にして ~3年生奉仕作業~ 2/9・2/21



空き缶や燃えるゴミを拾いました。みんなでゴミ拾いをするので、登下校中には見過ごしていたゴミがたくさんあることに気づきました。

2月9日(金)、「自分たちの阿山を大切にしよう」と、3年生の前期・後期生徒会本部役員およびかけにより、有志の3年生が思い出のつまった通学路や学校周辺のゴミ拾いを行いました。当日はたくさんの3年生が集まり、3つの班に分かれ袋いっぱい



また、21日(水)には、様々な思い出の詰まった教室、生徒玄関を中心に日頃はできないところまで掃除してくれました。三年間お世話になった校内をピカピカに磨き上げ、感謝の気持ちを行動で示してくれました。学校周辺のゴミ拾いも愛校作業も自分のできることを探して、楽しみながらできるところが3年生の素敵などところだなあと改めて感じました。



~あやま人づくり市民会議評語の表彰~

阿山に住むひとりとして「こんな阿山にしたい!」「こんな阿山がいいな」を評語にしました。中学校からも5作品が入賞し、あやま人づくり市民会議の中井会長より表彰していただきました。



ふりがなは、省略しています



最優秀 3年
優秀 1年
優秀 1年
入選 3年
入選 2年

※WEBに
名前は載
せていま
せん
m(_ _)m

これからも 阿山が私の ナンバーワン
目指そう!誰もが自分らしく生きていける阿山
生きがい やりがい 魅力ある住みやすい阿山になあ~れ
助け合い 守り合い 阿山で起こる 笑顔の連鎖
大事な文化 みんなが伝える これからも